

平成28年度 事業別予算概要

事業名	91200	外国青年(外国語指導助手)招致事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画		市長公約	高山市の次代を担う子どもたち(児童生徒)に対しては、一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育環境を整備します
	款			9	教育費	基本分野		3	教育・文化		実施計画事業	外国青年(外国語指導助手)招致事業		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	項	1	教育総務費	分野	1	学校教育	H28実施計画額	13,000 千円			
				3457	目	2		事務局費	施策概要		1	自ら学び考える力の育つ教育の推進		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小中学校児童生徒	どうしたいのか(意図)	児童生徒が生きた英語に接し、コミュニケーションする機会を得る中で、英語を中心とする異文化理解の資質を養うとともに、郷土を愛し郷土の文化を尊重する態度を育てる。	概要	事業の実施手法(手段)	小学校の英語活動の時間に、担任とともに簡単なコミュニケーション活動を行う。 ・中学校の英語の時間に英語教師とともに英語指導をする。 ・イングリッシュシャワーや英語スピーチコンテストなどに参加する児童生徒の支援をする。
	対象者数	7,563 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	英語指導助手(ALT)11名を市内小中学校へ派遣 英語指導助手(ALT)更新に伴う旅費等の費用負担(H26年度は4名更新)						
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
活動指標	英語指導助手の招致	人	目標値	12	12	13	13
	算出根拠等	各中学校を起点に全小中学校へ派遣	実績(見込)	11	11	13	
成果指標	中学校1学級あたりの平均訪問時間数(/週)	時間	目標値	2	2	2	2
	算出根拠等	11人ALT訪問時数 / 12中学校全学級数	実績(見込)	2	2	2	
成果面			達成率(%)	92	92	100	
	算出根拠等		目標値				
成果面			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
成果面			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
成果面			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
成果面			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足			目標値				
			実績(見込)				
補足			達成率(%)				
			目標値				
補足			実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	高山市の子どもが、郷土について自信をもって英語で話すことができるよう指導するためにも、ALT自身も地域の活動や人々とのふれあい、地域行事への積極的な参加が必要である。 授業内容の充実によつてどのような効果があったかについて、授業参観やその後の研究会などからも具体的に把握し、ALTの研修に活かしていく必要がある。 国際観光都市高山市で成長する子どもたちに必要な国際感覚の醸成につながるよう、英語の行事(イングリッシュシャワー等)やALT新聞、他校への数名ALT派遣事業などの充実と人員体制の強化が必要である。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・月1回行っているALT会議で、毎月発行のALT新聞を各学校において、どのように活用できるか検討する。 ・ALTの中学校英語教師とのチームティーチングの改善のための研修を行う。 ・ALTの授業力向上のための授業参観と評価を適時行う。 ・2名増員し、体制を強化することにより、どの学校にも数名のALTを派遣し、より本物の英語にふれる機会を子どもたちに提供できるようにする。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・ALT新聞の継続的な発行とその活用方法について検討していく。 ・ALTを他校へ派遣する Global Communication Day をより充実させていく。 ・指導力向上のために、経験ALTが新規ALTの授業へ定期的に訪問し、授業力向上の研修を行う。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	8,111	9,008	13,056	14,945
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,008	1,139	1,686	1,976
	受益者	小中学校児童生徒	(B)	8,047	7,910	7,744	7,563

5 予算編成(Action2)

事業内容	・児童生徒の英語教育を充実するための外国語指導助手13名の研修及び着任旅費等の経費	要求のポイント	・ALTの帰国及び着任に要する経費の増	事業実施の課題	・新規に着任するALTの指導力の向上と中学校英語教諭及び小学校5・6年生担任教諭のALT活用するための指導力の向上
------	---	---------	---------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	13,056	14,945	1,889	13,222	13,222	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	1,200	1,320	120	1,320	1,320		
	一般財源	11,856	13,625	1,769	11,902	11,902		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	91210 教育委員会事務局運営事業費	会計	1 一般会計	総合計 基本目標 3 生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち 基本分野 3 教育・文化 分野 1 学校教育 施策概要 2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
		款	9 教育費		実施計画事業	教育委員会事務局運営事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	項	1 教育総務費		H28実施計画額	18,800 千円	
		目	2 事務局費				
	内線 2359	予算					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 児童生徒、小中学校教職員	どうしたいのか(意図)	・教職員の健康維持、病気の早期発見(学校保健安全法に基づく) ・日本スポーツ振興センター加入促進により、学校管理下における児童生徒の災害発生時の保護者経費負担の軽減を図る。 ・児童生徒の健全な育成のための、教職員や学校医等の活動に対して支援する。	概要	事業の実施手法(手段)	・県費教職員及び保健相談員を対象とした胸部レントゲン検査及び県費教職員を対象に年代別健康診断を行う。 ・保護者の日本スポーツ振興センター共済掛金の一部を負担する。 ・教職員や学校医で組織される各種団体の上部団体からの分担金の負担および団体への助成を行う。
	対象者数 8,253 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> 年代別健康診断 168人 1,183千円 胸部レントゲン検査 566人 611千円 共済掛金の一部負担金 7907人 7,415千円 各種団体への負担金、補助金の支出 負担金 9団体 3,204千円、補助金 1団体 2,700千円 							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	年代別健康診断(胸部レントゲン検査を除く)受診者数	人	目標値	185	185	185	185
				実績(見込)	166	168	174	
	算出根拠等		達成率(%)	90	91	94		
	活動指標	胸部レントゲン検査受診者数	人	目標値	550	550	550	560
				実績(見込)	567	566	537	
	算出根拠等		達成率(%)	103	103	98		
	活動指標	保険加入者数	人	目標値	8,047	7,910	7,771	7,563
				実績(見込)	8,047	7,907	7,744	
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100		
	活動指標	交付先団体数	団体	目標値	10	10	10	11
				実績(見込)	10	10	10	
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100		
補足			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等		達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・全対象者が漏れなく受診できるよう、日程調整等を実施した。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	・教職員の健康推進のため、継続して事業を実施する。 ・学校管理下における児童生徒の災害補償をすることにより保護者負担の軽減を図る。 ・各機関、団体と連携を密にした事業をより効率的に実施する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
	○ 維持・改善	
	拡大	
二次評価	縮小	(担当課評価に同じ)
二次評価	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	14,789	15,114	15,322	16,371
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,698	1,762	1,817	1,984
	受益者	小中学校教職員、保健相談員	(B)	8,708	8,578	8,434	8,253

5 予算編成(Action2)

事業内容	・県費教職員及び保健相談員を対象とした胸部レントゲン検査及び県費教職員を対象とした健康診断の実施 ・保護者の共済掛金の一部を負担 ・教職員や学校医で組織される各種団体の上部団体からの分担金の負担及び、団体の事業費への助成	要求のポイント	・教職員等の健康の維持 ・保護者への災害補償制度の周知
------	--	---------	--------------------------------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	15,322	16,371	1,049	14,772	14,772	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	3,489	3,273	△ 216	3,390	3,390		
一般財源	11,833	13,098	1,265	11,382	11,382		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	91240	教育研究所運営事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
	款			9	教育費	基本分野		3	教育・文化		実施計画事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	項	1	教育総務費	分野	1	学校教育	H28実施計画額	6,700 千円	
				3456	目	2		事務局費	1		自ら学び考える力の育つ教育の推進	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 全市民(教職員及び保護者を中心とする)	どうしたいのか(意図)	・教育研究所(研究・研修センター・相談・資料センター)を中心に教職員や児童生徒等の支援が充実している。 ・であい塾の運営や相談体制の充実などにより不登校児童生徒の学級復帰への支援が行われている。 ・幼保小連携協議会を中心とした活動により、幼稚園や保育園から小学校への円滑な就学ができる。	概要	事業の実施手法(手段)	・教育研究センター(「子どもの心に残る教育」の在り方を研究する) ・教育研修センター(教職員の指導力向上のための研修、市民の生涯学習の機会の提供及び大学との連携を行う) ・教育相談センター(児童生徒、教職員、市民等からの教育に関する相談への対応を行う) ・教育資料センター(教育資料の収集、管理提供を行う) ・であい塾(不登校児童生徒適応指導教室の管理、運営を行う)
対象者数	90,904 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究所・であい塾の運営 ・教員研修、教育相談の実施 ・であい塾バスの運行 						
活動指標	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	教員研修開催状況		回	目標値	84	90	100	90
成果指標	算出根拠等			実績(見込)	105	104	100	
	達成率(%)			125	116	100		
成果面	教員研修参加状況		人	目標値	950	1,000	1,500	1,500
	算出根拠等			実績(見込)	1,640	1,645	1,500	
成果面	達成率(%)			173	165	100		
	目標値							
成果面	実績(見込)							
	達成率(%)							
補足	目標値							
	実績(見込)							
補足	達成率(%)							
	目標値							
補足	実績(見込)							
	達成率(%)							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・安心、安全な環境の中で、児童生徒に生きる力を育むためには、学力を向上させる必要がある。 ・学力力の向上のためには、管理職の確かなマネジメントと、教職員の資質向上が必要である。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・高山市教育委員学校訪問により、全小・中学校を訪れ、学校経営の現状を把握し、適した指導助言を行う。 ・小・中学校で開催される授業研究会において指導方法の工夫・改善に係る指導・助言を行う。 ・教職員の資質向上のための研修会を充実させる。																										
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>○維持・改善</td> <td rowspan="3">教職員の資質向上のための研修会を充実させる。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>○維持・改善</td> <td rowspan="3">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>○維持・改善</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○維持・改善</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○維持・改善</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> </tr> </table>	○維持・改善	教職員の資質向上のための研修会を充実させる。	拡大	縮小	○維持・改善	(担当課評価に同じ)	拡大	縮小	○維持・改善		拡大		縮小		○維持・改善		拡大		縮小		○維持・改善		拡大		縮小	
○維持・改善	教職員の資質向上のための研修会を充実させる。																										
拡大																											
縮小																											
○維持・改善	(担当課評価に同じ)																										
拡大																											
縮小																											
○維持・改善																											
拡大																											
縮小																											
○維持・改善																											
拡大																											
縮小																											
○維持・改善																											
拡大																											
縮小																											

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	3,898	5,653	6,385	6,967
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	42	62	70	77
	受益者	全市民	(B)	92,097	91,605	90,938	90,904

5 予算編成(Action2)

事業内容	・教育研究センター ・教育研修センター ・教育相談センター ・教育資料センター ・であい塾(不登校児童生徒適応指導教室)にかかる運営経費	要求のポイント	事業実施の課題	・教育相談やいじめ等の問題、不登校児童生徒への対応
------	--	---------	---------	---------------------------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		6,385	6,967	582	8,015	8,015	・積算内容を精査 ・人権教育の推進に要する経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	440	530	90	1,440	1,440		
	その他			0				
	一般財源	5,945	6,437	492	6,575	6,575		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	91250	特別支援教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
				款	9	教育費		基本分野	3		教育・文化	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	項	1	教育総務費	分野	1	学校教育	H28実施計画額	400 千円	
			2362	目	2	事務局費	施策概要	1	自ら学び考える力の育つ教育の推進			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 小中学校児童生徒	どうしたいのか(意図)	学びにくさ、生活のしづらさなどの困り感を抱えた児童生徒の教育的ニーズに応じて適した指導・援助を行い、その子の自立を支援し社会参加する力を育てる。	概要	事業の実施手法(手段)	・就学相談会、特別支援教育講演会、教育支援委員会を開催する。 ・医療行為を必要とする障がい児等を訪問看護により支援する。 ・幼稚園・保育園と小学校、小学校と中学校、中学校と高等学校等、就学前から卒業までを見据えた切れ目ない支援を行う。
	対象者数	7,563 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回就学相談会、特別支援教育講演会の開催 ・医療行為を必要とする障がい児等への訪問看護による支援 ・幼稚園・保育園と小学校の連携の支援 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	教育支援委員会の情報交流件数	件	目標値	400	400	400	400
				実績(見込)	487	520	400	
	算出根拠等			達成率(%)	122	130	100	
	成果指標	巡回就学相談件数	件	目標値	40	46	50	65
				実績(見込)	46	59	65	
	算出根拠等			達成率(%)	115	128	130	
	成果指標	特別支援講演会	回	目標値	1	1	1	1
				実績(見込)	1	1	1	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
算出根拠等			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	共生社会の実現に向けて、講演会の充実を図ること等で発達障がい等に対する市民、保護者の理解をさらに深めることにより、一人一人の子どもにあった総合的な教育支援が円滑に進むようになっていくことが必要である。加えて、市民の視点から他機関との円滑な連携と効果の良い早期対応が求められている。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいに対する理解や特別支援教育に対する理解を深めるため、特別支援教育講演会や小規模な研修会を開催し、市民の意識の改善を図る。 ・医療行為を必要とする障がい児等の保護者への訪問や個別の会議を継続して行い、必要に応じて訪問看護による支援を行う。 	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	280	275	390	483
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	575	688	975	1,208
	受益者	就学指導委員会の情報交流件数	(B)	487	400	400

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会、相談会、教育支援委員会の開催 ・障がい児等就学支援 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいに対する市民の理解のさらなる向上と、学びにくさなど困り感を抱えた児童生徒の教育的ニーズの把握 ・就学前から卒業までを見据えた切れ目ない支援
------	---	---------	--

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	390	483	93	390	390	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	390	483	93	390	390		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	92200	小学校運営事業費		予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
					款	9	教育費		基本分野	3	教育・文化	実施計画事業	小中学校運営事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課			内線	項	2	小学校費	分野	1	学校教育	H28実施計画額	85,700 千円		
			2358		目	2	教育振興費	施策概要	1	自ら学び考える力の育つ教育の推進				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 小学校児童	どうしたいのか(意図)	・学校運営に関する費用を負担することにより義務教育の充実を図る。 ・陸上記録会、音楽会など全教育活動を通して児童の心身の健全育成を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・学校運営に関する費用を負担する。 ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査を実施し学級経営を支援する。 ・児童の健康診断を実施する。 ・音楽会や陸上記録会等の行事を開催する。
	対象者数	4,835 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・学校運営にかかる経常経費 31,423千円 ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施 1,560千円 ・児童健康診断 3,715千円							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	児童数	人	目標値	5,164	5,017	4,909	4,835
				実績(見込)	5,164	5,017	4,909	
	算出根拠等		5月1日現在	達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	学校数	校	目標値	19	19	19	19
				実績(見込)	19	19	19	
	算出根拠等		5月1日現在	達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	新入学児童数	人	目標値	822	815	817	787
				実績(見込)	822	815	817	
	算出根拠等		5月1日現在	達成率(%)	100	100	100	
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・児童の状況を多面的に分析・把握するため、心理検査を継続実施した。	
次年度の実施方針	維持・改善	・心理検査の実施により学級経営の課題を教員が共有できるようになったため、さらに検査の実施学年の拡大を図る。
	○ 拡大	
	縮小	
	○ 廃止検討	
二次評価	維持・改善	・心理検査のより有効的な活用を検討するとともに、効果を検証していく必要がある。
拡大		
縮小		
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	38,062	37,776	64,060	40,092
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	7,371	7,530	13,050	8,292
	受益者	小学校児童	(B)	5,164	5,017	4,909	4,835

5 予算編成(Action2)

事業内容	・小学校の運営に係る経費 ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施 ・児童健診、検尿、心電図等検査費用	要求のポイント	事業実施の課題	・児童の多面的分析の継続実施 ・児童の健康の維持
------	---	---------	---------	-----------------------------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		64,060	40,092	△ 23,968	37,910	37,910	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	740		△ 740	700	700		
	一般財源	63,320	40,092	△ 23,228	37,210	37,210		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	92210 小学校心の教育推進事業費	会計	1 一般会計	総合計画	基本目標	3 生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
		款	9 教育費		基本分野	3 教育・文化	実施計画事業	心の教育推進事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	項	2 小学校費		分野	1 学校教育	H28実施計画額	49,500 千円	
		目	2 教育振興費		施策概要	4 学びのセーフティネットの構築			
		内線	2362						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 小学校児童	どうしたいのか(意図)	・個々の内面に寄り添い支援しながら、一人一人が持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする。 ・児童の学校生活への不適応やいじめ、不登校問題などの未然防止を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・特別な教育支援や心のケアを必要としている児童の支援のため、保健相談員を派遣する。 ・スクールカウンセラー(臨床心理士)を派遣し、心のケアを行う。
	対象者数	4,835 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	保健相談員 42名を各小学校へ配置 臨床心理士によるカウンセリング 399.5時間						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	保健相談員対応時間数	時間	目標値	27,673	31,122	33,061	40,600
	算出根拠等		実績(見込)	27,591	31,122	32,000	
			達成率(%)	100	100	97	
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	カウンセリング実施時間数	時間	目標値	400	400	400	400
	算出根拠等		実績(見込)	341	400	400	
			達成率(%)	85	100	100	
成果面	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
補足	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 心に悩みを持つ児童のケア、不登校傾向児童への支援などさまざまな支援が必要になっている。 通常学級に在籍し発達障がい等を抱える児童への学習支援や集団への適応支援を行う必要がある。 支援が必要な児童に十分対応するには、保健相談員の時間数や人数を増やす必要がある。 保健相談員のスキルアップのための研修会をさらに充実させる必要がある。 学校とスクールカウンセラーの連携方法について、さらに研究を進める必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな支援が必要になっており、保健相談員だけでなく教育相談担当や担任等と連携し、相談事業に対応している。 年度当初の保健相談員研修会で、発達障がいへの理解や支援方法、不登校児童生徒への支援の在り方等についての研修を行った。 夏季には、発達障がいや不登校児童への支援方法について研修を行う。 	
次年度の実施方針	維持・改善	
	○ 拡大	きめ細やかな支援を必要とする児童が増えていたため、相談員の増員や時間数の拡充、また、相談員のスキルアップを行っていく。
	縮小	発達障がい等を抱える児童や生徒、いじめ・不登校などに対応するため、継続して一人ひとりに寄り添う事業を実施する。
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	
	拡大	相談員及び教職員のスキルアップに取り組んでいく必要がある。
	縮小	県に対し、相談員の配置を強く働きかける必要がある。
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 28,751	32,498	34,950	35,187
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 5,568	6,478	7,120	7,278
	受益者 小学校児童	(B) 5,164	5,017	4,909	4,835

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 保健相談員の賃金 特別な教育支援を必要とする児童の支援 心に悩みを持つ児童の心のケア スクールカウンセラー(臨床心理士)の派遣 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 特別な教育支援を必要とする児童に対する個別支援体制の強化 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 心に悩みを持つ児童の心のケアに対応できる保健相談員の確保 児童の学校生活への不適応やいじめなど個別具体的な支援の継続
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	34,950	35,187	237	40,780	40,780	<ul style="list-style-type: none"> 普通交付税算入額を参考に積算 障がい児支援として、指導員の配置に要する経費を計上 	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	34,950	35,187	237	40,780	40,780		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	92220	小学校教育機器整備事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
	款			9	教育費	基本分野		3	教育・文化		実施計画事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358	項	2	小学校費	分野	1	学校教育	H28実施計画額	102,200 千円	
				目	2	教育振興費		施策概要	1		自ら学び感がる力の育つ教育の推進	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学校児童	どうしたいのか(意図)	・小学校教育機器の整備の充実 ・小学校におけるパソコン教育の推進と活用	概要	事業の実施手法(手段)	・学校内で使用する教材備品の購入 ・教育用PCを活用した授業の実施 ・情報モラル等の情報教育 ・情報通信関連機器の整備
	対象者数	4,835 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		<ul style="list-style-type: none"> 教材備品の充実 小学校用教材備品の購入 20,648千円 新規リースによるセンターサーバの更新ほか 						
成果面	活動指標	学級数	学級	目標・実績	H25	H26	H27	H28
		算出根拠等	5月1日現在	目標値	231	226	223	221
	活動指標	パソコン設置台数	台	実績(見込)	231	226	223	
		算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
	成果面	算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
	補足	算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
	補足	算出根拠等		実績(見込)				
				達成率(%)				
	補足	算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
補足	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の希望を考慮しながら、学校間のバランスにも配慮した学校教材の整備が課題である。 教育用パソコンをはじめ、積極的に情報通信機器を活用し、授業の充実をさらに図る必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況		<ul style="list-style-type: none"> 校長会、学校事務職員部会等と連携して、早期発注できるよう各学校の希望を考慮しながら学校間のバランスに配慮した学校教材の整備を行う。 校長会等を通して、情報通信機器のさらなる活用を促し、国語、算数など多くの教科で教育用パソコンを活用した授業を実施している。
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 継続して選定基準の作成・見直しを行いながら、早期発注に努める。 機器更新にあたり、児童の学習意欲の向上と学力定着につながる教育環境の整備を検討する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	50,155	33,057	41,890	75,810
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	9,712	6,589	8,533	15,679
	受益者	小学校児童	(B)	5,164	5,017	4,909	4,835

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 教材備品の整備 パソコン教育の推進のための経費 	要求のポイント	・教育用パソコンの更新に必要な経費を計上	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 早期発注による備品整備 計画的な機器更新とセキュリティの向上
------	--	---------	----------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		41,890	75,810	33,920	58,570	58,570	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	41,890	75,810	33,920	58,570	58,570		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	92230 小学校図書教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	款	9	教育費	基本分野	3	教育・文化	実施計画事業	図書教育推進事業	
		3457	項	2	小学校費	分野	1	学校教育	H28実施計画額	72,600 千円	
			目	2	教育振興費	施策概要	1	自ら学び感がる力の育つ教育の推進			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 小学校児童	どうしたいのか(意図)	・全小学校の図書館の蔵書について文部科学省の基準を上回る図書の内容整備及び分野別でも基準を満たす。 ・読書に親しめる環境づくりを進めるとともに、学習・情報センターとして活用できる学校図書館にする。	概要	事業の実施手法(手段)	・学校図書館の管理・運営を行う。 ・分野ごとにバランスの取れた選書による図書購入を行う。
	対象者数	4,835 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・図書購入 9041冊						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	年間購入冊数	冊	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	9,159	9,041	9,000	
			達成率(%)	92	90	90	
成果面	国の蔵書基準を上回る学校数	校	目標値	19	19	19	19
	算出根拠等		実績(見込)	17	17	17	
補足			達成率(%)	89	89	89	
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・学習・情報センターとしての機能向上を図るため、図書館主任と学校図書館指導員の協働により、教科書で扱われる題材に関連した図書の展示方法の工夫や通信、授業内でのBookTalkなどによる紹介など、図書館運営のあり方を充実させていく。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・学校図書館図書選書委員会において、「学習・情報センター」の視点を含めて、各学校図書の種類別のバランスが整う選書を行う。 ・より充実した図書館運営のために、年3回の図書主任研修会を開催し、図書主任と図書館指導員が協働して学校経営の中に図書館利用を位置付けていく。 ・図書館を使った調べる学習にもつながるように、児童・生徒の興味関心を年度当初に把握し、それらに対応した選書を行う。
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 ○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
二次評価	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	44,505	45,849	45,970	45,940
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	8,618	9,139	9,364	9,502
	受益者	小学校児童	(B)	5,164	5,017	4,909

5 予算編成(Action2)

事業内容	・学校図書館の管理運営 ・分野ごとにバランスの取れた選書による図書の整備	要求のポイント	事業実施の課題	・学校図書館の学習・情報センターとしての機能強化
------	---	---------	---------	--------------------------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	45,970	45,940	△ 30	45,940	45,940	-要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	45,970	45,940	△ 30	45,940	45,940		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	92240	小学校要保護及び準要保護等 児童援助事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
担当課		教育委員会事務局 学校教育課	内線	款	9	教育費	基本分野	3	教育・文化	実施計画事業	要保護及び準要保護等児童生徒援助事業	
			2358	項	2	小学校費	施策概要	1	学校教育	H28実施計画額	55,900 千円	
				目	2	教育振興費		4	学びのセーフティネットの構築			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 小学校児童	どうしたいのか(意図)	・経済的理由のため就学困難と認められる児童の就学を援助する。 ・特別支援学級等に在籍する児童の就学を奨励する。	概要	事業の実施手法(手段)	・保護者の収入等に応じて、必要な学用品費等や学校給食費の全部または一部を援助する。
	対象者数	4,835 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	要保護・準要保護等児童援助費 359人 21,424千円							
成果面	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28	
	成果指標	援助している児童数	人	目標値				
		実績(見込)			359	359	362	
		算出根拠等	年間認定者数	達成率(%)				
	成果面	目標値						
		実績(見込)						
		算出根拠等		達成率(%)				
	成果面	目標値						
		実績(見込)						
		算出根拠等		達成率(%)				
	成果面	目標値						
		実績(見込)						
算出根拠等			達成率(%)					
補足	目標値							
	実績(見込)							
	算出根拠等		達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・就学困難と認められる児童の保護者に対して従前と同様に支援を行い就学を奨励する	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	・国の制度改正の動向等を把握しながら、引き続き、必要な援助、学校給食費の全部または一部を補助することにより就学を奨励していく。
	拡大	
	縮小	
	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	20,760	21,424	23,600	22,410
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	57,827	59,677	65,193	58,974
	受益者	援助している児童数	(B)	359	359	362

5 予算編成(Action2)

事業内容	・要保護及び準要保護児童への就学援助 ・特別支援学級就学児童への就学奨励	要求のポイント	事業実施の課題	・学校と連携した制度の周知の継続
------	---	---------	---------	------------------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	23,600	22,410	△ 1,190	21,600	21,600	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	2,150	2,150	0	2,350	2,350		
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	21,450	20,260	△ 1,190	19,250	19,250		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	92260	小学校郷土教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約	高山市の次代を担う子どもたち(児童生徒)に対しては、一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育環境を整備します
	款			9	教育費	基本分野		3	教育・文化		実施計画事業		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	項	2	小学校費	分野	1	学校教育	H28実施計画額	13,500 千円		
				2362	目	2		教育振興費	3		地域全体の協働による郷土教育の推進		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	小学校児童	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 各学校、地域の特色を生かした学校経営を行い、豊かな教育環境を創出する。 地域の方々から、総合的な学習の時間・クラブ活動・進路講話・外国語指導等を受け、豊かな学習活動を展開しながら、様々な方面の事柄に興味関心を持たせ、生きる力の礎を築く。 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 各学校における特色ある学校経営を支援する。 各学校でその地域の特色ある講師や、児童に興味関心を持たせることができる講師を選定し、様々な学習活動を行う。
	対象者数	4,835 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		<ul style="list-style-type: none"> 特色ある学校運営推進協議会補助金 5,000千円 外部講師による授業時間 946時間 						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
		外部講師活用時間数	時間	目標値	950	950	950	950
	算出根拠等			実績(見込)	950	946	950	
				達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足			目標値					
			実績(見込)					
				達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある学校経営推進事業については、協議会で各学校の事業計画の内容についてよく精査し、郷土教育を軸とした特色となる事業を実施できるよう指導していく必要がある。 郷土教育の一環として、郷土で活躍する外部講師の方による授業を通して、児童が多様な経験をしたり、幅広いものの見方や感じ方を得たりすることができる。郷土を愛し、誇りとして生きる児童の育成という視点からも本事業の必要性は高い。これまでの人材に加え、新たな人材を発掘する工夫が必要である。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 特色補助金における事業内容については、「郷土教育を軸とした学校づくり」の視点から地域との連携を図りながら、地域の特色を生かした学校経営の計画を練り上げるように指導をした。 ダンスや音楽など専門性の高い講師活用に加え、郷土教育の場面でも地域の人から学ぶ機会が多いことから、外部講師の活用計画を立て効果的に活用する。 	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 事業を継続しながら、各校での事業内容が特色を生かした学校経営、豊かな教育環境の創出につながるよう指導していく。 多様な事業の実施方法を紹介し、地域の人材をより効果的に活用し、児童の豊かな学習活動につなげる。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある学校経営推進協議会補助金について、引き続き各校の実施内容を精査するとともに、効果を検証していく必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	6,763	6,892	7,740	7,984
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,310	1,374	1,577	1,651
	受益者	小学校児童	(B)	5,164	5,017	4,909	4,835

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある学校経営推進事業に対する助成 外部講師への謝礼 キャリア教育の推進 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 郷土教育(特色ある学校経営、リーダー育成のためのキャリア教育)の推進 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 多様な学習、体験のため、講師に地域の人材を活用 特色ある学校経営推進事業の効果的実施
------	---	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		7,740	7,984	244	10,080	10,080	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 社会科副読本「飛騨の高山」の刷新に要する経費を計上 	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0	900	900		
	一般財源	7,740	7,984	244	9,180	9,180		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	93200 中学校運営事業費	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
		款	9	教育費		基本分野	3	教育・文化	実施計画事業	小中学校運営事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	項	3	中学校費		分野	1	学校教育	H28実施計画額	85,700 千円	
	内線 2358	目	2	教育振興費		施策概要	1	自ら学び感が力の育つ教育の推進			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 中学校生徒	どうしたいのか(意図)	・学校運営に関する費用を負担することにより義務教育の充実を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・学校運営に関する費用を負担する。 ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査を実施し学級経営を支援する。 ・生徒の健康診断を実施する。 ・生徒会サミットなどの自主的な活動を支援する。
	対象者数	2,728 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営にかかる経常経費 24,219千円 ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施 1,684千円 ・生徒健康診断 3,355千円 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	生徒数	人	目標値	2,883	2,893	2,835	2,728
				実績(見込)	2,883	2,893	2,835	
				算出根拠等	5月1日現在	達成率(%)	100	100
	活動指標	学校数	校	目標値	12	12	12	12
				実績(見込)	12	12	12	
				算出根拠等	5月1日現在	達成率(%)	100	100
	成果面			目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等		達成率(%)		
	成果面			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等					達成率(%)			
成果面			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等		達成率(%)			
補足			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等		達成率(%)			

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・生徒の状況を多面的に分析・把握するため、心理検査を継続実施した。	
次年度の実施方針	維持・改善	・心理検査の実施により学級経営の課題を教員が共有できるようになったため、さらに検査の実施学年の拡大を図る。
	○ 拡大	
	縮小	
	○ 維持・改善	・心理検査のより有効的な活用を検討するとともに、効果を検証していく必要がある。
	拡大	
	縮小	
○ 廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	29,725	31,255	32,845	49,226
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	10,310	10,804	11,586	18,045
	受益者	中学校生徒	(B)	2,883	2,893	2,835	2,728

5 予算編成(Action2)

事業内容	・中学校の運営に係る経費 ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施 ・生徒健診、検尿、心電図等検査費用	要求のポイント	・教科書改訂に伴う教科書及び指導書等の整備	事業実施の課題	・生徒の多面的分析の継続実施 ・生徒の健康の維持
------	---	---------	-----------------------	---------	-----------------------------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		32,845	49,226	16,381	47,450	47,450	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	32,845	49,226	16,381	47,450	47,450		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	93210 中学校心の教育推進事業費	会計	1 一般会計	総合計画	基本目標	3 生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	款	9 教育費		基本分野	3 教育・文化	実施計画事業	心の教育推進事業	
		項	3 中学校費		分野	1 学校教育	H28実施計画額	49,500 千円	
		目	2 教育振興費		施策概要	4 学びのセーフティネットの構築			
	内線 2362	予算							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 中学生徒	どうしたいのか(意図)	個々の内面に寄り添いながら、一人一人が持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする。	概要	事業の実施手法(手段)	保健相談員を派遣し、特別な教育支援を必要としている生徒の支援と心に悩みを持つ生徒の心のケアにあたる。
	対象者数	2,728 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	保健相談員 21名を各中学校へ配置							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	保健相談員対応時間数	時間	目標値	14,693	14,693	14,796	16,600
				実績(見込)	14,775	14,693	14,500	
				算出根拠等				
				達成率(%)	101	100	98	
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
実績(見込)								
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)				</	

平成28年度 事業別予算概要

事業名	93220 中学校教育機器整備事業費	会計	1 一般会計	総合計画	基本目標	3 生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
		款	9 教育費		基本分野	3 教育・文化	実施計画事業	教育機器整備事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	項	3 中学校費		分野	1 学校教育	H28実施計画額	102,200 千円	
	内線 2358	目	2 教育振興費		施策概要	1 自ら学び感がる力の育つ教育の推進			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 中学校生徒	どうしたいのか(意図)	・中学校教育機器の整備の充実 ・中学校におけるパソコン教育の推進と活用	概要	事業の実施手法(手段)	・校内で使用する教材備品の購入 ・教育用PCを活用した授業の実施 ・情報モラル等の情報教育 ・情報通信関連機器の整備
	対象者数	2,728 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> 教材備品の充実 中学校用教材備品の購入 13,682千円 吹奏楽備品の更新 6,912千円 新規リースによるセンターサーバの更新ほか 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	学級数	学級	目標値	109	113	111	108
				実績(見込)	109	113	111	
	算出根拠等	5月1日現在		達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
	成果指標	パソコン設置台数	台	実績(見込)	680	700	700	
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
目標値								
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・各学校の希望を考慮しながら、学校間のバランスにも配慮した学校教材の整備が課題である。 ・教育用パソコンをはじめ、積極的に情報通信機器を活用し、授業の充実をさらに図る必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・校長会、学校事務職員部会等と連携して、早期発注できるよう各学校の希望を考慮しながら学校間のバランスに配慮した学校教材の整備を行う。 ・校長会等を通じて、情報通信機器のさらなる活用を促し、国語、社会、数学など多くの教科で教育用パソコンを活用した授業を実施している。			
次年度の実施方針	○ 維持・改善	拡大	・継続して選定基準の作成・見直しを行いながら、早期発注に努める。	
		縮小	・機器更新にあたり、生徒の学習意欲の向上と学力定着につながる教育環境の整備を検討する。	
		廃止検討		
	○ 維持・改善	拡大	・教育用パソコンを積極的に授業に活用する必要がある。	
	縮小	・機器更新にあたっては、効率的な配置と計画的な更新を行う必要がある。	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	42,589	28,182	34,880	56,200
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	14,772	9,741	12,303	20,601
	受益者	中学校生徒	(B)	2,883	2,893	2,835	2,728

5 予算編成(Action2)

事業内容	・教材備品の整備 ・パソコン教育の推進のための経費	要求のポイント	・吹奏楽備品の計画的な更新 ・教育用パソコンの更新に必要な経費を計上	事業実施の課題	・早期発注による備品整備 ・計画的な機器更新とセキュリティの向上
------	------------------------------	---------	---------------------------------------	---------	-------------------------------------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		34,880	56,200	21,320	46,340	46,340	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	5,000		△ 5,000	5,000	5,000		
	一般財源	29,880	56,200	26,320	41,340	41,340		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	93230 中学校図書教育推進事業費	会計	1 一般会計	総合計画	基本目標	3 生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	款	9 教育費		基本分野	3 教育・文化	実施計画事業	図書教育推進事業	
		項	3 中学校費		分野	1 学校教育	H28実施計画額	72,600 千円	
		目	2 教育振興費		施策概要	1 自ら学び感が力の育つ教育の推進			
	内線 3457								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 中学校生徒	どうしたいのか(意図)	・全中学校の図書館の蔵書について文部科学省の基準を上回る図書の内容整備及び分野別でも基準を満たす。 ・読書に親しめる環境づくりを進めるとともに、学習・情報センターとして活用できる学校図書館にする。	概要	事業の実施手法(手段)	・学校図書館の管理・運営を行う。 ・分野ごとにバランスの取れた選書による図書購入を行う。
	対象者数	2,728 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・図書購入 7788冊						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	年間購入冊数	冊	目標値	7,000	7,000	7,000	7,000
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	7,424	7,788	7,000	
	達成率(%)		106	111	100		
成果指標	国の蔵書基準を上回る学校数	校	目標値	12	12	12	12
	算出根拠等		実績(見込)	9	9	9	
成果指標	達成率(%)		75	75	75		
	算出根拠等						
成果指標	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
補足	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・図書システムのさらなる活用を検討し、生徒の貸し借りをスムーズに行っていくとともに、生徒が自ら図書を検索し、購入する図書のリストをしたり、調べる学習に活用できる図書を見つけて利用したりできるようにするための指導を充実していく。 ・学習・情報センターとしての機能向上を図るため、図書館主任と図書館指導員の協働により、教科書で扱われる題材に関連した図書の展示方法の工夫や通信による紹介、授業に参加してBookTalkをするなど、図書館運営のあり方を充実させていく。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・学校図書館図書選書委員会において、「学習・情報センター」の視点を含めて、各学校図書の分類別のバランスが整う選書を行う。 ・より充実した図書館運営のために、年3回の図書主任研修会を開催し、図書主任と図書館指導員が協働して学校経営の中に図書館利用を位置付けていく。 ・図書館を使った調べる学習にもつながるように、児童・生徒の興味関心を年度当初に把握し、それらに対応した選書を行う。
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 ○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 (担当課評価に同じ)
学習・情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、学校図書の効果的な活用について研修、実践を強化する。	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	25,335	26,486	26,580	26,560
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	8,788	9,155	9,376	9,736
	受益者	中学校生徒	(B)	2,883	2,893	2,835

5 予算編成(Action2)

事業内容	・学校図書館の管理運営 ・分野ごとにバランスの取れた選書による図書の整備	要求のポイント	事業実施の課題	・学校図書館の学習・情報センターとしての機能強化
------	---	---------	---------	--------------------------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	26,580	26,560	△ 20	26,560	26,560	-要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	26,580	26,560	△ 20	26,560	26,560		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	93240	中学校要保護及び準要保護等 生徒援助事業費	予 算	会計	1	一般会計	総合計 画	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公 約
				款	9	教育費		基本分野	3	教育・文化	実施計画事業	要保護及び準要保護等児童生徒援助事業	
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線		項	3	中学校費		分野	1	学校教育	H28実施計画額	55,900 千円	
		2358		目	2	教育振興費		施策概要	4	学びのセーフティネットの構築			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 中高校生生徒	どうしたい のか (意図)	・経済的理由のため就学困難と認められる生徒の就学を援助する。 ・特別支援学級等に在籍する生徒の就学を奨励する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・保護者の収入等に応じて、必要な学用品費等や学校給食費の全部または一部を援助する。
	対象者数	2,728 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	要保護・準要保護等生徒援助費 229人 25,398千円							
成果 指 標	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	援助している生徒数	算出根拠等	年間認定者数	目標値				
				実績(見込)	235	229	264	
	達成率(%)							
		目標値						
	算出根拠等	年間認定者数	達成率(%)	実績(見込)				
				目標値				
	達成率(%)							
		目標値						
	算出根拠等	年間認定者数	達成率(%)	実績(見込)				
				目標値				
	達成率(%)							
目標値								
算出根拠等	年間認定者数	達成率(%)	実績(見込)					
			目標値					
達成率(%)								
	目標値							
算出根拠等	年間認定者数	達成率(%)	実績(見込)					
			目標値					
達成率(%)								
	目標値							
算出根拠等	年間認定者数	達成率(%)	実績(見込)					
			目標値					
達成率(%)								
	目標値							
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H27対応状況	・就学困難と認められる生徒の保護者に対して従前と同様に支援を行い就学を奨励する		
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	・国の制度改正の動向等を把握しながら、引き続き、必要な援助、学校給食費の全部または一部を補助することにより就学を奨励していく。	
	拡大		
	縮小		
	廃止検討		
	○ 維持・改善		(担当課評価に同じ)
	拡大		
縮小			
二次評価	廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	25,841	25,398	32,500	34,350
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	109,962	110,908	123,106	122,679
	受益者	援助している生徒数	(B)	235	229	264

5 予算編成(Action2)

事業内容	・要保護及び準要保護生徒への就学援助 ・特別支援学級就学生徒への就学奨励	要求のポイント	事業実施の課題	・学校と連携した制度の周知の継続
------	---	---------	---------	------------------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	32,500	34,350	1,850	33,500	33,500	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金	1,950	1,950	0	1,950	1,950		
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	30,550	32,400	1,850	31,550	31,550		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	93260	中学校郷土教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約	高山市の次代を担う子どもたち(児童生徒)に対しては、一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育環境を整備します
	款			9	教育費	基本分野		3	教育・文化		実施計画事業		
担当課	教育委員会事務局 学校教育課		内線	項	3	中学校費	分野	1	学校教育	H28実施計画額	13,500	千円	
				2362	目	2		教育振興費	施策概要		3	地域全体の協働による郷土教育の推進	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	中学校生徒	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 各学校、地域の特色を生かした学校経営を行い、豊かな教育環境を創出する。 地域の方々から、総合的な学習の時間・クラブ活動・進路講話・外国語指導等を受け、豊かな学習活動を展開しながら、様々な方面の事柄に興味関心を持たせ、生きる力の礎を築く。 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 各学校における特色ある学校経営を支援する。 各学校でその地域の特色ある講師や、生徒に興味関心を持たせることができる講師を選定し、様々な学習活動を行う。
	対象者数	2,728					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		<ul style="list-style-type: none"> 外部講師による授業時間 900時間 特色ある学校運営推進協議会補助金 3,200千円 						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	外部講師活用時間数	時間	目標値	900	900	900	900
		実績(見込)	900	900	900			
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
		達成率(%)						
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足			目標値					
			実績(見込)					
				達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 郷土教育の一環として、郷土で活躍する外部講師の方による授業を通して、生徒が多様な経験をしたり、幅広いものの見方や感じ方を得たりすることができる。郷土を愛し、誇りとして生きる児童の育成という視点からも本事業の必要性は高い。これまでの人材に加え、新たな人材を発掘する工夫が必要である。 特色ある学校経営推進事業については、協議会で各学校の事業計画の内容についてよく精査し、郷土教育を軸とした特色となる事業を実施できるように指導していく必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ダンスや音楽など専門性の高い講師活用に加え、郷土教育の場面でも地域の方から学ぶ機会が多いことから、外部講師の活用計画を立て効果的に活用する。 特色補助金における事業内容については、「郷土教育を軸とした学校づくり」の視点から地域との連携を図りながら、地域の特色を生かした学校経営の計画を練り上げるように指導をした。 	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 事業を継続しながら、各校での事業内容が特色を生かした学校経営、豊かな教育環境の創出につながるよう指導していく。 多様な事業の実施方法を紹介し、地域の人材をより効果的に活用し、生徒の豊かな学習活動につなげる。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	
	拡大 縮小 廃止検討	
	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	4,943	5,000	5,730	5,780
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,715	1,728	2,021	2,119
	受益者	中学校生徒	(B)	2,883	2,893	2,835	2,728

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある学校経営推進事業に対する助成 外部講師への謝礼 キャリア教育の推進 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 郷土教育(特色ある学校経営、リーダー育成のためのキャリア教育)の推進 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 多様な学習、体験のため、講師に地域の人材を活用 特色ある学校経営推進事業の効果的実施
------	---	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,730	5,780	50	5,730	5,730	-要求どおり	-財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	5,730	5,780	50	5,730	5,730		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	93290	中学校部活動支援事業費	会計	1	一般会計	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	教育振興基本計画	市長公約
			款	9	教育費	基本分野	3	教育・文化	実施計画事業	部活動支援事業	
担当課		教育委員会事務局 学校教育課	項	3	中学校費	分野	1	学校教育	H28実施計画額	10,000 千円	
		内線	目	2	教育振興費	施策概要	2	豊かな心と健やかな体を育む教育の推進			
		2359									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	中学校生徒	どうしたいのか(意図)	部活動大会派遣等に要する経費の助成により、生徒の心身の健全育成をはかる。	概要	事業の実施手法(手段)	部活動において各種大会へ派遣される生徒、教員等の経費の1/2を補助する。
	対象者数	2,728 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> 部活動補助金 1,905千円 各種大会派遣補助金 7,181千円 						
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
活動指標	生徒数	人	目標値	2,883	2,893	2,835	2,728
			実績(見込)	2,883	2,893	2,835	
成果指標	算出根拠等	5月1日現在	達成率(%)	100	100	100	
	部活動において県大会以上へ出場した回数	回	目標値	120	120	120	120
	算出根拠等		実績(見込)	110	122	120	
成果面			達成率(%)	92	102	100	
			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
補足			目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	部活動に対して、継続して効果的な支援を実施していく。
-----------------	----------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	部活動に対して、公平かつ効果的な支援をする。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	部活動に対して、公平かつ効果的な支援をする。
	○ 拡大	
	○ 縮小	(担当課評価に同じ)
	○ 廃止検討	
	○ 維持・改善	
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 6,739	9,086	9,950	9,950
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 2,337	3,141	3,510	3,647
	受益者	(B) 2,883	2,893	2,835	2,728

5 予算編成(Action2)

事業内容	部活動の大会派遣等に対する費用の助成	要求のポイント	事業実施の課題
------	--------------------	---------	---------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	9,950	9,950	0	9,950	9,950	要求どおり	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	9,950	9,950	0	9,950	9,950		